

## 歴史・文化の継承と活用

地域伝統芸能や祭りなどを活用し、郷土に対する愛情を深め、次世代への伝承及び地域相互の交流などを促進します。

また、個性あふれる豊かな文化の創造を目指し、文化活動への参加や文化鑑賞・発表の機会を充実し、市民の主体的な文化活動を支援します。

さらに、歴史的文化財などは、まちづくりの地域資源として活用を図るとともに、市民の貴重な財産としてその保全に努めます。

### ◎重点施策1 文化団体の育成・支援（担当：生涯学習課）

#### 具体的施策の取り組み状況

- ① 文化芸術団体を支援するため、市内4地区の各文化団体連合会に対して、文化団体の健全な育成と文化振興事業の円滑な推進を図るための補助金を交付しました。

#### 自己点検・評価

- ① 各文化団体連合会は、育成のための補助金を活用して、地域の文化振興を図るための文化祭事業、文化振興事業を計画どおり実施することができました。

### ◎重点施策2 文化活動への参加・鑑賞・発表機会の充実（担当：生涯学習課）

#### 具体的施策の取り組み状況

- ① 文化団体との共催による市民文化祭の実施にあたっては、市民文化祭事業として、菖蒲、栗橋、鷺宮の各地区で作品展示、発表会を開催しました。
- ② 市民芸術祭を開催し、市内で活動する様々な種別の文化団体のなかで、出演応募のあったフラダンス、ダンス、合唱、舞踊、民謡、和太鼓、演劇などの24団体が参加しました。
- ③ 埼玉県芸術文化祭地域文化事業の充実を図るため、地域文化事業である「吹奏楽フェスティバル」を埼玉県との共催により開催し、市内外の中学校、高等学校の吹奏楽部12団体及び市内の社会人吹奏楽団の3団体が参加しました。

## 自己点検・評価

- ① 文化団体の日頃の活動の成果を発表する場と、市民に文化芸術を鑑賞する機会を提供しました。  
今後も各地区文化団体連合会や関係団体と協力し、発表会や展示会等が効率的に実施されるよう支援していく必要があります。
- ② 市民に発表の場と鑑賞する機会を提供することができました。出演枠に対して、多くの応募があるため、引き続き今後も出演団体の決定には、内容が充実するよう選考委員会に諮って、公平に出演団体を選考していきます。
- ③ 吹奏楽団体の発表の場と音楽鑑賞の機会を県民・市民に提供しました。また、当日の運営にボランティアや出演団体の協力により、効率的に運営することができました。

---

## 参考資料

### 【具体的施策の取り組み状況①参考資料】

○各文化祭の入場者数

| 催 事 名                   | 入場者数   |
|-------------------------|--------|
| 菖蒲文化祭                   | 800人   |
| 栗橋文化祭                   | 8,207人 |
| 鷺宮文化祭                   | 984人   |
| 久喜市美術展（絵画ほか）            | 830人   |
| 久喜市美術展（書）               | 1,092人 |
| 久喜市美術展（写真）              | 588人   |
| 合同発表会（民謡、吟詠、舞踊、合唱、カラオケ） | 375人   |
| 合同展示会（短歌、俳句、手工芸、川柳）     | 263人   |
| 合同展示会（華道、盆栽、野生蘭）        | 381人   |

### 【具体的施策の取り組み状況②参考資料】

○市民芸術祭の出演者数及び入場者数

|      |      |
|------|------|
| 出演者数 | 322人 |
| 入場者数 | 758人 |

### 【具体的施策の取り組み状況③参考資料】

○吹奏楽フェスティバルの出演者数及び入場者数

|      |        |
|------|--------|
| 出演者数 | 535人   |
| 入場者数 | 1,910人 |

**◎重点施策3 伝統芸能や祭りの伝承・保存への支援**  
**(担当：文化財保護課)**

**具体的施策の取り組み状況**

① 保存・伝承団体を支援するため、文化財の保存、維持管理、伝承活動への補助金の交付を行いました。

**【補助金交付対象】**

- ・ 鷺宮地区無形民俗文化財伝承保存連盟(加盟4団体)
- ・ 久喜市立鷺宮中学校郷土芸能部(毎週水曜日開催、部員数17名)
- ・ 市指定の有形、無形民俗文化財(36件に実施)

② 郷土伝統芸能の伝承、育成を図るため、伝統芸能後継者のための指導育成の機会を設けました。

**【鷺宮催馬楽神楽伝承教室】**

- ・ 8回開催、延べ110人参加

**【郷土伝統芸能(獅子舞等)後継者の育成】**

- ・ 久喜地区囃子保存会(10団体、192回開催、延べ3,440人参加)
- ・ 久喜地区獅子舞保存会(3団体、29回開催、延べ549人参加)
- ・ 小塚囃子、小林ささら(22回開催、延べ508人参加)

**自己点検・評価**

① 鷺宮地区無形民俗文化財伝承保存連盟への支援により、鷺宮文化祭等を通して神楽・獅子舞の普及・啓発が行われるとともに、加盟団体の伝承活動への支援を図ることができました。

また、鷺宮中学校郷土芸能部への支援においては、新たな楽器(笛2本)が購入され、より多くの生徒が楽器を使って練習することができました。

市指定の有形、無形民俗文化財への支援を行い、有形文化財においては、その保存が図られ、無形民俗文化財においては、その伝承活動の支援を図ることができました。

② 鷺宮催馬楽神楽伝承教室の開催により、受講生が神楽の技術を習得するとともに、鷺宮文化祭で発表を行うことによって多くの市民の方に催馬楽神楽を周知することができ、後継者育成の支援となりました。

また、保存会主催による、お囃子等伝統芸能継承者育成活動への支援を図ることで、伝承囃子発表会の開催などを通じ、継承者の指導育成に寄与することができました。

**◎重点施策4 文化財の保護・郷土資料館活動の充実**  
**(担当：文化財保護課)**

**具体的施策の取り組み状況**

- ① 文化財の保護においては、各種文化財の調査、整理を行い、記録、保存を図りました。
- ・ 民具整理、出土遺物復元、展示説明用資料作成（青葉小学校文化財展示室）  
臨時職員3名、整理54日、延べ83人勤務。
  - ・ 遺跡出土遺物の実測作業・トレース作業  
業務委託（期間6月1日～2月29日、コンテナ460箱）
  - ・ 市指定文化財「吉田家水塚」の移築復元工事  
平成24年3月30日 移築復元工事完工
  - ・ 市指定文化財の修復作業等  
（長年にわたる劣化や東日本大震災の影響で被害を受けたもの）  
旗本内藤家歴代の墓所内宝篋印塔の修繕（5基）  
深廣寺六角名号塔の修繕（21基）
- ② 文化財の活用を図るため、出土遺物や郷土資料等文化財の展示、公開を実施しました。
- ・ 文化財の展示・公開（青葉小学校文化財展示室）  
一般公開：10月の土、日曜日（全10回開催）  
一般見学：178人  
団体見学：15団体、847人（通年）
  - ・ 調査報告書の刊行  
久喜市文化財調査報告書第1集「旗本内藤家歴代の墓所（宝篋印塔ほか）」・  
「善宗寺嘉永三年銘宝篋印塔及び宝塔記碑」（56頁、500冊）
- ③ 市史の編さんでは、「久喜市栗橋町史 第五巻 資料編三 近現代」を刊行しました。（648頁、500冊）
- ・ 会議の開催  
編さん委員会（1回）  
編集会議（4回）  
原始古代中世部会（2回）  
近世部会（9回）、  
近現代部会（10回）、民俗部会（1回）
  - ・ 近世、近現代資料調査（県立文書館での行政文書等の調査）
  - ・ 古文書整理（解読員1名による渡辺家文書の解読作業及び資料編掲載資料の入力作業。延べ66回）

- ・市史編さんに活用するため古文書学習会（全24回開催、のべ216人参加）
- ④ 郷土資料館の充実を図るため、常設展示室を改修し、鷲宮地区を中心とした展示内容から、新久喜市全域を対象とした展示内容にしました。  
また、展示事業として、第2回特別展の開催、あわせて展示図録を発行し、特別展の会期中に記念講演会を開催しました。
  - ・第2回特別展「中島撫山没後100年展」  
期 間：10月15日（土）～12月25日（日）  
開催日数：55日  
入場者数：1,917人
  - ・第2回特別展記念講演会  
期 日：11月23日（祝）  
会 場：鷲宮総合支所405～408会議室  
講 師：村山吉廣氏（早稲田大学名誉教授）  
演 題：「中島撫山と久喜」  
受講者数：201人
  - ・古文書講座  
期 日：9月3日（土）、10日（土） 全2回  
内 容：近世の久喜市域の古文書をテキストに古文書の初歩から学習  
講 師：石井昇氏（久喜市文化財保護審議会会長）  
受 講 者：34人
  - ・歴史講座（埼玉県立文書館と共催）  
期 日：11月12日（土）、19日（土）、26日（土） 全3回  
内 容：江戸時代の栗橋関所 ～関所番士足立家の記録から～  
講 師：11月12日（土） 根岸茂夫氏（國學院大學教授）  
          11月19日（土） 高木謙一氏（埼玉県立文書館嘱託職員）  
          11月26日（土） 新井浩文氏（埼玉県立文書館主任学芸員）  
受 講 者：147人  
会 場：郷土資料館（11月12日、19日）  
          埼玉県立文書館（11月26日）

### **自己点検・評価**

- ① 臨時職員を活用し出土遺物の復元や民具の整理などを行い、今後の展示、公開に向けた準備作業を行うことができました。  
また、遺跡出土遺物整理を委託し、地獄田遺跡の発掘調査報告書刊行に向けて整理作業が進めることができました。

市指定文化財「吉田家水塚」の移築復元工事が完工し、文化財の保存を図ることができました。今後は活用が課題です。

市指定文化財の復旧・補強作業を行うことができ、文化財を従来の姿に戻すだけでなく、今後も長期にわたり保存・活用するための環境づくりを整えることができました。

- ② 文化財の展示・公開を実施することにより、市民が郷土の歴史文化に触れ合う機会を提供することができました。

旗本内藤家歴代の墓所の文化財調査報告書を刊行し、文化財活用のための基礎的な情報を広く周知することができました。

今後とも、文化財の調査・研究等によって得られた新たな知見を、多くの市民に提供していくためにも、調査報告書の刊行活動を継続していくことが必要です。

- ③ 「久喜市栗橋町史 第五巻 資料編三 近現代」を刊行することで、栗橋地区の歴史を後世に残すことができました。

今後も市民に広く郷土の歴史を伝えるため、継続的に市史編さん事業を進めることが必要です。

- ④ 常設展示室を新久喜市全域を対象とした展示内容に改修したことにより、久喜市を中心とした地域の歴史や文化に目を向ける機会を提供することができました。

また、教育普及事業として、古文書講座、歴史講座等を開催することで、郷土の歴史文化の醸成に努めました。